

DIC グループサステナビリティ方針

1. 目的

DIC グループは、経営の基本的な考え方である「The DIC Way」に則り、以下の 5 つの目的を意識して事業活動を行い、企業価値の向上と持続可能な成長の達成を目指します。

- 1) 安全と健康の確保
- 2) ESG 課題に関するリスク管理
- 3) 公正な企業行動と多様性および人権の尊重
- 4) 環境との調和とその保護の推進
- 5) イノベーションを通じた社会的価値の創造と持続可能な発展への貢献

DIC グループは、自主性と責任感を持って、顧客、仕入先、地域社会、株主や投資家、社員を含むステークホルダーが期待する価値の提供に取り組んでいきます。

DIC グループは、戦略の策定と実施、リスク管理、投資判断において、本方針に定めるサステナビリティに関する原則を考慮するよう努めるとともに、社会の持続可能性および地球環境の保全と改善に貢献する組織であり続けることを目指します。

The DIC Way はこちらのリンクからご覧いただけます。

[The DIC Way](#)

2. 範囲

このポリシーは、DIC のすべての事業、子会社、社員に適用されます。

また、本方針記載の原則は、DIC グループがサプライチェーンのパートナーを選択する際に参考とします。

3. マテリアリティ

DIC グループは、取り組むべき優先課題を特定するために、世界的な視点から定期的に重要課題（マテリアリティ）に関する評価を実施します。

この評価は、DIC グループが適切と判断し、法的要件も考慮した方法で、各国の事業状況を踏まえて実施されます。

4. 方針の中核要素

A. 健康と安全

DIC グループは、操業の安全確保が、事業の基本であり、かつ、レスポンシブル・ケアプログラム（詳細は、以下のリンクをご参照：[方針・目標・体制](#)）の中核であると認識し、そのため「安全第一」の考え方をグループ全体、全社員を巻き込んで促進するために、積極的な労働安全衛生や防災対策を推進します。

DIC グループの安全・環境・健康に関する方針はこちらのリンクからご覧いただけます。

安全・環境・健康に関する方針

B. 倫理とコンプライアンス

DIC グループのコンプライアンスは、単なる法令遵守だけでなく、社会規範や顧客を含むステークホルダーの要請に沿った行動を含みます。公正かつ透明な事業の持続的成長を目指して、DIC グループは、「DIC グループ行動規範」を策定し、その中にまとめられた指針を遵守することがコンプライアンスの基礎であると考えています。DIC は、すべての DIC グループの社員に対し、行動規範に従って行動することを義務付けています。

DIC グループ行動規範はこちらのリンクからご覧いただけます。

[DIC グループ行動規範](#)

C. ガバナンス

DIC グループは、コーポレート・ガバナンスを、企業の持続的な成長と発展を目指して、より健全かつ効率的な経営が行われるよう、経営方針について意思決定をするための仕組みと定義しています。

DIC グループのサステナビリティの取り組みは、社長執行役員の責任および監督の下で実施されます。サステナビリティ委員会は、DIC グループのサステナビリティ経営に関する審議機関として、DIC グループ全体のサステナビリティの取り組みを推進、改善、調整します。サステナビリティ委員会の審議内容およびその結果は取締役会に報告されます。

コーポレートガバナンスに関する方針はこちらのリンクからご覧いただけます。

[コーポレートガバナンスに関する方針](#)

D. 環境

DIC グループは、化学物質を製造・販売するグローバルな組織として、レスポンシブル・ケア活動を通じて広範な安全・環境・健康の取り組みを推進し、法規制を上回る施策の実現を目指すとともに、事業活動を通じて CO₂ 排出削減と気候変動に関するリスク低減に取り組みます。

DIC グループの安全・環境・健康に関する方針はこちらのリンクからご覧いただけます。

[安全・環境・健康に関する方針](#)

E. イノベーション

DIC グループは、人々の生活環境を改善し持続可能な繁栄を実現するという使命を果たすために、より環境に優しく、デジタル化が進み、生活の質（QOL）を重視した社会の実現に貢献するよう努め、また、持続可能な成長を促進するために、グループ全体の技術資源の統合に取り組み続けるとともに、オープンイノベーションも推進します。

サーキュラーエコノミー

DIC グループは、「サーキュラーエコノミーへの対応」が私たちのサステナビリティ戦略の重要な柱と位置付け、「5R」、即ち、再利用（Reuse）、削減（Reduce）、リサイクル

(Recycle)、再生 (Renew)、再設計 (Redesign) を基盤として、顧客との協働においてサーキュラーエコノミーの実現に向けてさまざまな取り組みを行います。

サーキュラーエコノミーの取り組みについては、こちらのリンクからご覧いただけます。

サーキュラーエコノミー

F. プロダクト・ステュワードシップ

DIC グループは、製品が安全で、持続可能かつ法令を遵守したものであることを確保するとともに、顧客に製品の安全情報を提供します。

DIC グループの安全・環境・健康に関する方針はこちらのリンクからご覧いただけます。

安全・環境・健康に関する方針

動物福祉

DIC グループは、動物実験におけるより倫理的な動物使用を確保するための指針である「3R」（代替、削減、改善）に沿って、動物を用いない代替試験方法や定量的構造活性相関 (QSAR) モデルを活用した安全性評価を積極的に推進します。

G. 持続可能な購買

サプライチェーンにおけるビジネスパートナーが、本方針に定めるサステナビリティに関する原則に取り組むことができるよう、DIC グループは、調達活動に関する事項を定めた DIC グループ購買基本方針及び DIC グループサステナビリティ調達ガイドラインを策定し、どのサプライチェーンパートナーから調達し、取引すべきかの指針とします。

DIC グループ購買基本方針および DIC グループサステナビリティ調達ガイドラインはこちらのリンクからご覧いただけます。

DIC グループ購買基本方針

DIC グループサステナビリティ調達ガイドライン

H. 社会性と人権

DIC グループは、事業活動を通じて人権を保護・促進することに努めます。DIC グループの全ての役員および社員は、人権を促進、尊重する事業活動を目指します。

多様性、公平性、包括性 (DEI)

DIC グループは、すべての社員の個性（多様性）を尊重し、すべての社員に平等な機会と可能性（公平性）を提供するとともに、すべての社員が自分の能力を発揮し活躍できる環境を整えること（包括性）に取り組みます。

人権に関する方針はこちらのリンクからご覧いただけます。

DIC グループの人権に関する方針

I. 継続的な改善

DIC グループは、イノベーション、ベンチマー킹に加え、ステークホルダーからのフィードバックを考慮の上、サステナビリティへの取り組みを継続的に改善していきます。

5. 実行およびモニタリング

DIC グループは、マテリアリティ評価（本ポリシーの第 3 章参照）から特定された優先課題に対処するために具体的な活動に取り組み、進捗状況の監視を目的とした主要業績評価指標（KPI）を継続的に策定します。

DIC グループは、社員のサステナビリティへの意識の向上が重要であるとの認識の下、継続的な教育と専門能力の開発を支援します。

また社員が自身の貢献を理解し、自身の業務活動が環境に与える影響を認識できるように、研修やその他の機会を提供します。

6. レビューと更新

この方針は、定期的に見直され、必要に応じて更新されます。

7. 情報開示

DIC グループは、サステナビリティ活動の進捗について、年に一度公表します。

附 則 1. 本方針は、2025年12月1日から施行する。